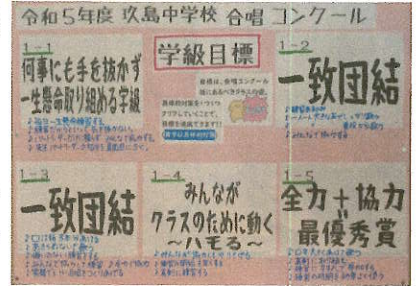




令和5年度 校内合唱コンクールに仲間と共に挑む ～瞳に輝き 額に汗 くちびるに歌 心にふるさと～

今年度も本校では4月から「ものを言う ものに成る 人づくり」の実現に向け、「瞳を輝かせて学び、額に汗して働き、くちびるに歌を忘れることなく、ふるさとを心にしっかりと宿す」挑戦を生徒とともに続けています。また、4月から行事を通した学級づくり、学年づくり、学校づくりにも取り組んでいますが、秋を迎え今年も合唱コンクールの時季を迎えました。「一人一人の歌声を揃える中で、日を追うにつれて心や思いが揃ってくる。同じ目標の実現に向けて挑んでいく中で深まる絆を感じる。」このような体験を生徒たちは日々続けています。7月の自由曲決めに始まって、各学級目標も右のように決まっています。校内合唱コンクールに向けたその取組も、中間テストを終えると一段と佳境に入っていきます。

ご家庭でもその進捗状況や取組、歌声の様子等についてお話しいただき、励ましていただければと思います。



生徒たちの見守り活動

あいさつ運動：民生児童委員、環境・生活部

毎月第1金曜日の民生児童委員の皆さんによる見守り活動に、玖島中学校PTA環境・生活部の皆さんが加わられて、10/6(金)に朝のあいさつ運動を展開していただきました。「PTAのお父さん方の参加が多くて素晴らしいですね。」「先月とはまた違った生徒のあいさつになっている。と感じました。」など、民生児童委員の皆様方からお言葉をいただきました。地域や保護者の皆様の生徒たちや学校への思いを改めて感じる事ができました。生徒たちのあいさつの変容は、生徒会の「挨拶コンテスト」の取組の成果だと感じています。



頑張っています！「起業体験学習」

2年生が取り組む「起業体験学習」、鈴田地区の「ラカト」が下記のとおり新聞の取材を受けました。今回、各社株券の完売に至らず、その課題解決に生徒たちは知恵を絞って取り組んでいます。

山崎 兼介 月刊 2023年(令和5年)10月3日 火曜日 ローカル 12



模擬会社 株主募る

鈴田の果物スイーツに

大村玖島中生徒が事業説明会

模擬の株式会社を立ち上げ、地域の魅力を再発見する授業に取り組みしている大村市立玖島中の生徒らから、地域に特化した果物スイーツの開発を目的とした「鈴田地区産果物を使ったスイーツ」を売る事業計画を発表し、賛同者「株主」を集めた。同校の2年生は授業から引き継いだ取り組みを、地元で果物販売の経験豊富な部長や専務部長、経営者などとの連携を求め、事業内容を練り上げてきた。生徒の高揚が、自らに予定する事業で出資し、利益を株主や地域に還元する。鈴田地区の生徒からつくる会社「ラカト」は、地産地消の果物に特化したスイーツの開発を始めた。試作を繰り返して、イチゴを使ったカラテラや、ミカンの砂糖漬けにチョコレートを加えたオランジエト、など4品を生産する予定という。「社員」は毎月5日と10日、21日に開く大朝陽会に生徒会役員やPTA役員、先生、校長の田中浩貴さん、日田同僚早野さん、一同で説明してきた。まずはおいしい果物を使い、地域に貢献できるようにしたい。(宮崎 大志)

『令和5年度学校評価(前期)』について、ご回答をお願いします。

このことについて194名の保護者の方々からのご回答を得ておりますが、半数に至っておりません。学校評価は子供たちがより良い教育を享受できるよう、教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取り組みです。平成19年6月に学校教育法の改正を受け、同年10月に学校教育法の施行規則が改正され、全国の学校が取り組んでいます。本校でも、平成20年度以降、継続して取り組まれているものです。

本校の教育活動等の評価を保護者の皆様方から広くお寄せいただき、生徒を通じた教育活動の指針としたいと考えております。趣旨をご理解いただきお忙しい中大変恐縮ですが、ご回答がお済みでない保護者の皆様は12日(木)までに「teturu」にてご回答くださるようお願いいたします。

10/30(月):校内合唱コンクール ⇒弁当(給食なし)

30日(月)の「令和5年度校内合唱コンクール」の日は、今年もPTAのご理解をいただきながら、設備等の調った「さくらホール」で実施します。午前中からの動きとなり弁当が必要な日となります。ご理解とご協力をお願いいたします。